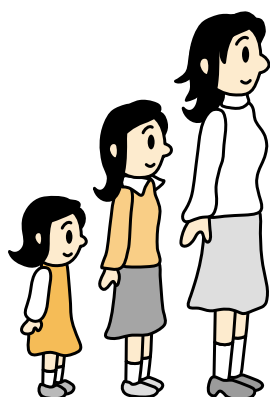


## 「体の成長」

## 1 題材名 「体の成長」

## 2 題材について



体の成長

知的障がいのある生徒が思春期の二次性徴を迎えると、自分の体への無関心や過剰な関心、誤った理解、強い依存心、対人関係など、心身の成長のアンバランスが多く見られる。また、友達や書物から適切な情報を得ることが難しい側面もある。それゆえ、一人一人の実態に応じたきめ細やかな支援が重要である。

特殊学級の生徒は心身の発達の個人差が大きいことから、思春期の体や心の変化とその対処について、日常生活の指導など具体的な場面で個別に指導している場合が多い。しかし、これから起こる心身の大きな変化について事前に学ぶことは、思春期を安心して迎えられることにつながると考える。

本題材では、自分や友達の体の変化を知り、大人に近づいていることを自覚するとともに、互いに尊重し合う態度をはぐくみたい。とりわけ、知的障がいのある生徒が新しく得た知識を生活に生かすためには家庭と学校での連携した取組が不可欠であり、両方における繰り返しの指導が大切である。そのため、本題材では、事前のアンケートにより、保護者に生徒の実態と指導への意見を聞くとともに、授業での指導内容について知らせ、指導の効果を高めたいと考えた。

本授業は、思春期に関する指導内容が理解できる生徒を対象としている。言葉での理解が困難な生徒は、別に「体の衛生」について学習し、思春期の心身の変化に関する指導は個別に対応することとした。

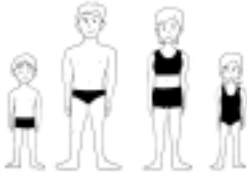
## 3 目標

- (1) 思春期における自分の体の変化に気付き、自分や他人を大切にしようとする気持ちや態度を育てる。
- (2) 男女の体の違いに気付き、互いに相手を思いやる気持ちと態度を育てる。

## 4 教科、領域等の内容的関連

- (1) 保健体育 「体のつくり」「体の成長」「体の衛生」
- (2) 道徳 「心の成長」
- (3) 生活単元学習 「公共の場でのマナーやエチケット」
- (4) 日常生活の指導 「身だしなみ」「人とのかわり方」「通学のときに注意すること」

5 指導展開例

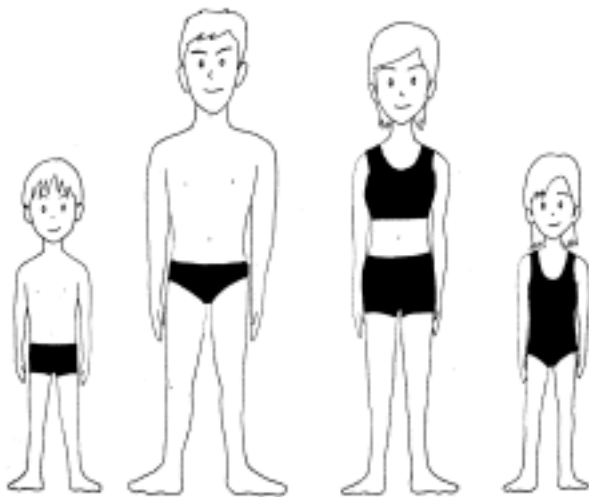
	教師のかかわり	子供の思考の流れ・学習活動	留意点
導入	思春期の体の変化について学習することを知らせる。	人間の一生の中で思春期と言われる期間を知り、自分がその時期にいることを知る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・男女の教師による T T</li> <li>・図 1 提示(資料 1)</li> <li>・体の発育には個人差があることを確認する。</li> </ul>
展開	<b>大人に近付くと、体がどのように変わるのだろう？</b>		
	大人に近付くと、体に何か変化があるか考え、発表しよう。	考えたり気付いたりしたことを発表する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・背が伸びる</li> <li>・体重が増える</li> <li>・ひげがはえる</li> <li>・すねに毛がはえる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要に応じて、体毛、性器などの用語があることを知らせるが、生徒が分かりやすい言葉を使用する。</li> </ul>
	大人の男の人と女の人のイラストを提示して男女の違い、成長の個人差があることに気付かせる。	提示された体の絵を使って説明する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・胸が大きくなる</li> <li>・筋肉がつく</li> <li>・わき毛が生える</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水着に隠された場所は、人には見せない場所であることを確認する。(資料 2)</li> </ul>
	体の中の変化について簡単に説明する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・月経～女性の教師が説明</li> <li>・射精～男性の教師が説明</li> </ul>	体の変化について学習カードに記入する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の体も大人に近付いているんだ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体のことで友達をからかったりしてはいけないことを確認する。(資料 3)</li> </ul>
体の中の変化について困ったときの対応の仕方を考えさせる。	女の人には生理が始まり、男の人には性器からおしっこ以外のものが出るようになること、またその時期は人によって違うことを知る。	身近な相談相手を知り、相談の仕方をロールプレイングで練習する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・体のことで相談があります</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・月経の出血は、けがによる出血とは違うことなど、不安を抱かないように説明する。</li> <li>・詳しい指導は、家庭と連携して個別に対応する。</li> <li>・身近な人とはどういう人かの確認をする。親、学級担任、養護教諭、スクールカウンセラー</li> </ul>
<b>体が変化するのは当然のことなんだ。困ったことがあったら、身近な人に相談しよう。</b>			
まとめ	思春期の体の変化について理解できたか確認する。	わかったことを学習カードに記入する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習したことを振り返って記入させる。(資料 4)</li> <li>・授業内容のお知らせを参考に家庭でも体の話をするように依頼する。(資料 6)</li> </ul>

6 資 料

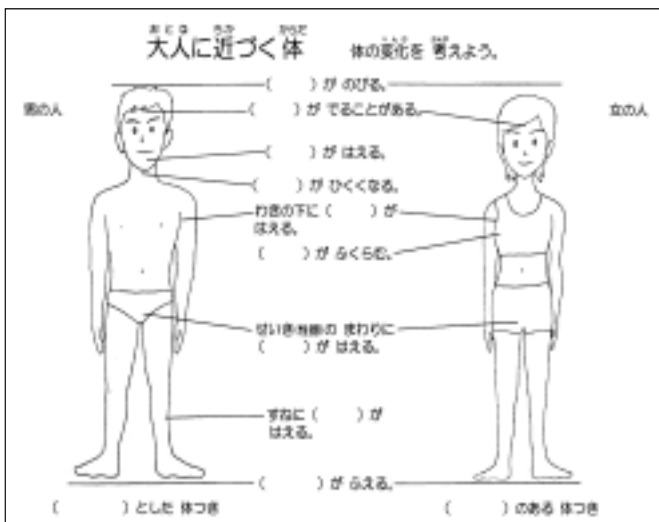
【資料1】図1 「人間の成長過程」



【資料2】図2 「体の変化」



【資料3】学習カード



【資料4】学習カード②

○学習したことを おもいだそう。

( ) やともだちの 体は、( ) に ちかづいて います。

だから、( ) が はえたりする ことは、あたりまえの へんかです。

ともだちの 体のことを からかったり じろじろ 見たりする ことは ( ) 。

体のことで こまったり なやんだり したときは、どうしたら よいですか。

○おうちのかたに 今日の じゅぎょうの ないようを おしらせしますので、体の成長について かそくでも 話を してください。



## 【資料5】保護者へのアンケート

### 「思春期の心と体」の指導に関するアンケート

1 中学生になって、親の言うことを素直に聞かなかったり反抗したりすることが増えましたか。

ア はい イ いいえ ウ どちらとも言えない

2 中学生になって、人を思いやる様子が増えましたか。

ア はい イ いいえ ウ どちらとも言えない

3 お子様から性に関することについて質問されたことがありますか。

ア ある イ ない

「ある」の場合、どのような内容でしたか。(複数回答でもよいです。)

ア 体毛について イ 性器について ウ 月経について  
エ 精通・夢精について オ 自慰について カ 異性の体について  
キ 子供が生まれることについて ク 性的な本や雑誌について  
ケ 結婚について コ その他 ( )

4 お子様の様子から、性に関する悩みや関心があると思われませんか。

ア ある イ ない

「ある」の場合、どのような内容ですか。(複数回答でもよいです。)

ア 体毛について イ 性器について ウ 月経について  
エ 精通・夢精について オ 自慰について カ 異性の体について  
キ 子供が生まれることについて ク 性的な本や雑誌について  
ケ 結婚について コ その他 ( )

5 ご家庭で、性に関することを話題にしたことがありますか。

ア ある イ ない

「ある」の場合、どのような内容でしたか。(複数回答でもよいです。)

ア 体毛について イ 性器について ウ 月経について  
エ 精通・夢精について オ 自慰について カ 異性の体について  
キ 子供が生まれることについて ク 性的な本や雑誌について  
ケ 結婚について コ その他 ( )

6 お子さまに性に関する教育は必要だと思いますか。

ア はい イ いいえ ウ その他 ( )

「はい」の場合、誰が指導したらよいとお考えですか。

ア 家庭ですべき イ 学校ですべき ウ 家庭と学校で

「いいえ」の場合、その理由は何ですか。

ア 大人になると自然にわかるから  
イ 高校生になってからでよいから  
ウ その他 ( )

7 思春期の心と体の指導についてご意見やご要望をご記入ください。

## 【資料6】保護者への授業内容のお知らせ

### 「思春期の心と体」授業内容のお知らせ

今日は、大人に近づく体について学習しました。授業で使用する学習プリントも持たせますので、あわせてご覧ください。

1 思春期の体の変化

ひげ、声変わり、がっちりとした体つき など  
胸のふくらみ、丸みのある体つき など

2 体の中の変化

生理と射精が起こることについて、男子にも女子にも簡単に説明しました。

生理については、赤ちゃんを産む体の準備であること、手当てについてはお母さんや女の先生が教えてくれること、体調がすぐれないときがあることなどを伝えました。男子には、女の人をいたわることも伝えました。

射精については、おしっこが出る場所から白い液が出るようになること、寝ていてパンツを汚してしまうことがあるかもしれないということを伝えました。過剰な興味をもたないように配慮しましたが、詳しい説明が必要と思われる生徒には保護者の方と連携して、今後指導したいと考えています。

3 相談について

体のことで困ったり悩んだりしたときは、親や先生(保健室の先生、スクールカウンセラーも含めて)にすすんで相談することを確認しました。

なかなか言い出しづらいことですので、「体のことで、相談があります。」とスムーズに言えるようにロールプレイングで学習しました。なお、周囲の大人が変化や悩みに気付けるように、しっかり観察することが大切です。

4 基本的なおさえ

体が大人に近づくということはすてきなことだと伝えました。今はなくても、今後いろいろな悩みや疑問をいただくようになりますので、「いつまでも子供でいてほしいのに」などと決しておっしゃらず、ご家庭でも体の変化について認めてあげてください。

5 取り上げた用語等

思春期、性器、性器の周りの毛、月経(生理)、射精、個人差

○次回は、道徳の時間に「思春期の心の変化」について学習します。お気づきのことがありましたら、担任へお伝えください。

